



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

ゲストティーチャーを招いて学習の充実

一関小学校では、今年度もたくさんのゲストティーチャーをお招きして、専門的なお話をいただくことで学習の充実を図ることにしています。



5月27日には、平泉文化遺産センター参与の千葉信胤さんをお招きして、6年生対象に「平泉の文化と一関」と題してご講話をしていただきました。この講話は、6年生の平泉見学の事前学習として位置付けています。6年生は、中尊寺の金色堂と毛越寺が造られた理由を藤原氏の仏教政治と関連付けながら学びました。この事前学習を踏まえて、世界文化遺産に登録されている、毛越寺と中尊寺に実際に足を運び見学をしました。

6月4日には、日頃より一関小学校の給食を作ってくださっている真滝給食センターの大内田敬子栄養教諭さんに4年生対象に食育の授業のお手伝いをしていただきました。テーマは「おやつの上手なとり方」です。授業では、子供たちが普段食べているおやつに含まれる砂糖の量についてクイズ形式で考えた後、砂糖の取り過ぎによる弊害や、1日20g以下に抑えたおやつのお組み合わせについて考えました。市販の炭酸飲料に含まれる砂糖の量50g(5g入りのスティックシュガー10本分)をコップに入れたものを見た子供たちは、改めて普段食べたり飲んだりするおやつに含まれる砂糖の量の多さに驚いていました。おやつは心身のリフレッシュの意味合いもありますが、本来は、「4番目の食事」とも言われるように、3回の食事だけでは十分に取れない栄養素を補うためのものです。食事のリズムやバランスを崩さないよう、食べる時間と1回のおやつを量を決め、上手なおやつを取り方を実践してもらいたいです。



輝け 関小 笑顔の星

一関小学校の全校児童は現在576名、その中には、様々なことに取り組んでいる子供たちがたくさんいます。学校以外に活動の場を広げ、自分の興味のあることに挑戦したり様々な人と関わったりしながら得られる経験は、子供たちにとっての大きな財産となります。デジタル機器のゲームやスマートフォンでの動画の視聴等以外にも、夢中になれるものを見つけ、自分の可能性を広げる子供たちの頑張りを学校として応援したいと思っています。

学校ではスポーツ少年団や各種コンクール等に挑戦し入賞した子供たちについて、賞状を持参したものと学校に賞状が届いたものについては、随時校長室で表彰し頑張りを讃えています。

今年度も既に、「珠算、テニス、ピアノ等の大会やコンクールで表彰を受けた子供たちが賞状を持参しています。もし、学校以外で賞状をもらうことがあった時には、是非学校へもお知らせください。